



過労死をゼロにし、
健康で充実して働き続ける
ことのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くの方の尊い命や心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。本シンポジウムでは有識者や過労死をされた方のご遺族にもご登壇をいただき、過労死等の現状や課題、防止対策について探ります。

●基調講演

「『労災認定基準』を過労死予防に活用しましょう」

青木 慎一郎 氏

(岩手県立大学 健康サポートセンター 特任教授 岩手県立大学名誉教授)

【講師略歴】

昭和52年 弘前大学医学部卒業、弘前大学神経精神医学講座医員
平成10年 岩手県立大学社会福祉学部助教授
平成15年 岩手県立大学社会福祉学部教授
平成24年 岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員
平成27年 同メンタルヘルス対策推進特別アドバイザー
平成28年 岩手県立大学健康サポートセンター・特任教授・岩手県立大学名誉教授

過労死等防止対策 推進シンポジウム

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

日時

2019年11月15日(金)

13:30~16:00 (受付13:00~)

会場

岩手教育会館 2階 多目的ホール
(盛岡市大通一丁目1-16)

[定員] 100名

参加
無料

主催：厚生労働省 後援：岩手県、盛岡市

協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議、岩手弁護士会、岩手県経営者協会、連合岩手、いわて労連、岩手県教職員組合、働く者の生命・健康を守る会、岩手県医師会、岩手県予防医学協会、岩手看護協会、岩手障害者職業センター、岩手産業保健総合支援センター

